

水資源開発分科会第 2 回木曾川部会における説明資料の概要

国土交通省 土地・水資源局 水資源部

《概要》

- 目標年度 : 平成 27 年度 (現行計画 : 昭和 61 年 ~ 平成 12 年度)
対象地域 : 木曾川水系に各種用水を依存している長野県、岐阜県、愛知県
及び三重県の諸地域
需要想定 : 都市用水 約 69 m³/s (平成 27 年度想定)
約 60 m³/s (平成 12 年度実績)
施設整備 : 徳山ダム建設事業 (継続) 及び愛知用水二期事業 (継続)

《参考》 現行計画の評価・・・H12 における見通しと実績

	見通し (a)	実績 (b)	割合 (b/a)
水道用水	約 61 m ³ /s	約 44 m ³ /s	約 72%
工業用水	約 33 m ³ /s	約 15 m ³ /s	約 46%
都市用水	約 94 m ³ /s	約 60 m ³ /s	約 64%

(注 : 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。)

《特徴》

実績や状況に合わせて、都市用水の需要想定を適切に下方修正

利用者の立場からみた供給の目標に変更
新規需要に対応する供給量の確保 安定的な水利用を可能にすること

安定的な水利用を可能にする対応策を実施
厳しい渇水時 (平成 6 年) の降雨状況で供給可能な水量を点検
目標年度の供給能力は厳しい渇水時に不足

必要な施設整備を実施し、安定的な水利用を可能にする
水利用の合理化、渇水時の適切な対応等を実施

新しい計画における需給想定について

「H27」は当初の計画値であり、「近2/20」は近年の20年に2回発生する規模の渇水、「H6」は近年最大の渇水であるH6を対象として、供給施設の安定性を評価した供給可能水量を示している。

